

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公開番号】特開 2001-236027 (P2001-236027A)
 【公開日】平成 13 年 8 月 31 日 (2001.8.31)
 【出願番号】特願 2000-381101 (P2000-381101)
 【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 4 9 C

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 9 月 28 日 (2007.9.28)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

薄膜トランジスタと、E L 素子とを含む画素を複数有し、

前記 E L 素子は、前記薄膜トランジスタに電氣的に接続された陰極と、陽極と、前記陰極と前記陽極に挟まれた E L 層とを有し、

複数の前記画素において隣り合う画素間の前記陰極の隙間と重なるように、前記陽極に接して金属膜を設け、

前記金属膜のシート抵抗は前記陽極のシート抵抗よりも小さいことを特徴とする E L 表示装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記金属膜は遮光性を有することを特徴とする E L 表示装置。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 において、

前記金属膜は T i、A l、T a、W、C r、C u、A g のいずれかからなることを特徴とする E L 表示装置。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれかーにおいて、

前記陽極は透明導電膜でなることを特徴とする E L 表示装置。

【請求項 5】

請求項 4 において、

前記透明導電膜は、酸化インジウムと酸化スズとの化合物、酸化インジウムと酸化亜鉛との化合物、酸化スズ、または酸化亜鉛であることを特徴とする E L 表示装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 5 のいずれかーにおいて、

前記薄膜トランジスタは、活性層が単結晶半導体膜、多結晶半導体膜、微結晶半導体膜

のいずれかを用いて形成されたものであることを特徴とする E L 表示装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至請求項 6 のいずれかーにおいて、

前記薄膜トランジスタは逆スタガ型であることを特徴とする E L 表示装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかーに記載の E L 表示装置を用いたことを特徴とする電気器具。